

港湾・空港工事のあり方検討会について

【資料1】

港湾・空港工事の実施に当たっては、新担い手3法を踏まえつつ、「働き方改革」、「担い手の育成・確保」、「生産性の向上」の3本柱を中心に取り組みを推進する必要がある。

重点取組課題

港湾・空港工事における働き方改革、担い手の育成・確保、生産性の向上を推進する方策を検討会を設置し検討

港湾・空港工事のあり方検討会における検討内容

働き方改革

- <第1回(R3.4)～第3回(R3.7)>
「港湾・空港工事の工期の設定に関するガイドライン」の策定
- ✓ 設計図書に規定する品質の工事目的物を、建設工事従事者の休日を確保しつつ標準的な施工方法及び所要費用により施工する際に必要となる期間(=適正工期)の設定に際して考慮すべき事項を整理。
 - ✓ 適正工期の設定にあたって必要となる条件明示方法や、契約後における受発注者間での協議の場の設定をガイドラインとして明示。→長時間労働の是正や休日確保等の港湾・空港工事における働き方改革の実現に資する。

担い手の育成・確保

- <第4回(R4.2)、第5回(R4.3)>
港湾工事の事業環境を踏まえた請負代金のあり方の検討
- ✓ 港湾・空港工事に係る事業環境の変化を踏まえつつ、将来にわたって担い手が確保できるような適正な利潤が得られる環境の整備が必要。
 - ✓ このため、請負代金に関する現状把握及び課題の抽出を行い、その対応方針を検討する。
 - ✓ 検討結果を踏まえ、諸経費に対してインセンティブを付与するモデル工事を創設(3月)
- 「港湾工事における契約変更事務がITライン」の改定
- ✓ 品質確保調整会議における受発注者間の協議の重要性の高まりを踏まえ、設計変更にあたっての課題整理等を行った上で改定する。(3月)

生産性の向上

- <第6回以降(R4d～)>
○ 候補(案)
i-Constructionトプランナー施策推進に関する検討
- ✓ ICT施工、BIM/CIM
 - ✓ プレキャストの導入
 - ✓ 施工時期の平準化
- 「港湾工事の脱炭素化」への取組に関する検討
- ✓ 作業船の使用など港湾工事における二酸化炭素排出量削減に向けた具体的な課題抽出と対応策について検討する。

<第6回以降(必要に応じて随時)> 港湾・空港建設事業の持続可能な発展に係る多面的な課題抽出及び対応策の整理・検討
※具体的な検討内容はワーキンググループ等において議論